

三一 対中国借款関係雑件 (三) 三五八 三五九

三〇四

ハ支那政府ニ於テ苦痛トスル所ナルベケレバ數度ニ分割シテ返償ヲ容易ナラシムル為メ今後支那政府ニ交付セラルヘキ塩税剩余ノ内ヲ以テ交付ノ都度数回ニ本借款ノ償還ニ充當セシメ度趣旨ヲ明ニシテ先方ニ交渉セシメラレ候様致度尤モ政治借款成立ノ暁ハ一時ニ返償セシムルコトハ支那政府ト興亞公司トノ間ニ於ケル契約条項ニ照シ当然ノ儀ニ有之右当省意見及回答候也

大正六年四月三十日

大蔵大臣 勝田主計(印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

三五八 五月十五日 在中園林公使宛(電報)

興亞公司借款金ノ返済問題ニ関シ回訓ノ件

第三八三号

貴電第四九六号ニ閲シ貴官ヨリ支那政府当局員ニ対シ本件ノ如キ紛糾ヲ重ネタル問題ヲ長ク未定ノ状態ニ置クコトハ日支親善ノ為ニスル今後ノ施設ニ対シ支障少ナカラサル次第ヲ述べ往電第二一八号ノ趣旨ニ依リ速ニ借款金ヲ返済スルコト結局彼我ノ為得策ナルコトヲ説示セラレ結果電報ア

三五九 一月一日 在廣東太田總領事事宛(電報)

廣東借款ノ台銀提出条件ニ対スル先方申出ヲ

承認ノ件

第一号

貴電第一^(往)七三号ニ閲シ資本家側ニ於テモ大体貴地台灣銀行支店長ノ申越ニ異議ナク尚当方ニ於テモ同意見ナリ詳細ハ台灣銀行ヨリ貴地支店長宛電報ニテ御承知アリ度シ(欄外註記)
「本件ハ十二月三十一日山成台銀取締役出頭廣東支店長申出通ニテ決定シ借款成立方ヲ希望スル旨陳述セリ 小幡」

註 日本外交文書大正五年第一冊五五八文書

三六〇 一月八日 在廣東太田總領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

広東セメント廠借款ハ劉總弁ト協議ノ上決定

第三号

ナリ
北京へ転電セリ

三六一 一月十七日 在廣東太田總領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

広東借款ノ担保ニ閲シ台銀及劉總弁間意見一
致セザルニ付本件借款ノ迅速成立困難ナル件

第六号

往電第三号ニ閲シ台灣銀行支店長ハ劉總弁ト協議シタルモ「セメント」廠抵当ニ閲シ商議纏ラズ尚劉總弁ヨリ別ノ条件ヲ以テ台灣銀行ニ対シ計三百万円ノ借款ヲ申込ミタルモ台灣銀行ノ同意ヲ得難キ模様ナリ尚昨十五日本官朱省長ヲ往訪シタルニ朱ハ財政府長同席ノ上借款ノ成立ハ切ニ希望スル處ナルモ唯中央政府ヨリ官產処ト商議スヘキ旨電命アリ而シテ官產処ハ「セメント」廠ヲ抵当トスルコトヲ承認セザルヲ以テ遺憾ナガラ本借款ハ迅速ニ成立セシムルコト困難トナリタリ
右在支公使へ転電セリ

銀行借款ニ閲シテモ多少意思ノ疏通ヲ欠キ意見一致セザル

点モアルモノノ如ク夫等ノタメ談判稍々行惱ノ状態ナリ尚

更ラニ財政厅長劉總弁同席シ台灣銀行支店長ト協議スル告

三一 対中国借款関係雑件 (三) 三六〇 三六一 三六二

リタシ尚右支払ノ方法ニ付テハ大借款成立ノ上ハ契約通一時ニ返済ノコトトシ夫レ迄ハ同電報所載ノ通塩税剩余中ヨリ分割充当セシムルコトトシ差支ナキニ付其旨ヲモ更ニ明ニシ置カレタシ

三〇五

**広東借款ニ閏シセメント廠ヲ担保トスルニ反
対スル理由ヲ訊シタル件**

トスルコトヲ承諾シ交渉再開方台銀ニ申込來
レルニ付稟申ノ件

本官発在支公使宛第八号

往電第六号ニ閏シ本日台灣銀行支店長ハ朱省長ニ面会ノ上中央政府ハ同シク官有財産タル大沙頭及其他ヲ担保トスルコトヲ承認シナガラ「セメント」廠ニ限り承認スルコト能ハザル理由ヲ糺セシニ朱省長ハ財政局長同席ニテ「セメント」廠ヲ担保トスレバ從テ其所有財産タル華県地方ノ石灰山モ其内ニ含マル次第ナルガ該石灰山ハ英國側カ多年垂涎シツツアル關係上英國ヨリ故障起ル虞アルニヨルモノト考フル旨答ヘタル由ナリ右ニ依レハ今回借款ノ故障モ或ハ英國側ノ運動ノ結果ニヨルモノニアラズヤト思ハル節モアルニ依リ右ニ閏シ貴地ニ於テ何等カノ手段ヲ執ラル余地アラハ可然御尽力ヲ請フ

右外務大臣ヘ転電セリ

三六三 二月六日 在広東太田總領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

広東借款ニ閏シ先方ハ遂ニセメント廠ヲ担保

第一号

往電第三号及第六号竝機密第二号拙信ノ台灣銀行借款ニ閏シ其後省長ヨリ劉總辦ニ対シ他方面ヨリ申込ノ借款ヲ二月二日迄ニ決定スル様期限ヲ附シアリタル由ノ処今回該借款ハ成立ノ見込ナキニ依リ劉總辦モ遂ニ「セメント」廠ヲ抵当トシテ台灣銀行借款ヲ成立セシムルコトヲ承諾セシ趣ニテ昨日省長側ヨリ台灣銀行ニ対シ再び借款ノ交渉ヲ開始シタキ旨申込ミ条件ハ旧ノ如ク唯ダ皮革廠ハ既ニ民間ニ払下ゲシヲ以テ同廠ニ對スル事項ヲ削除シ尚ホ台灣銀行ヨリ申込アリタル竜濟光時代ノ借款返還ノコトハ一部ニ止メ置カレタキ旨申越シタル由ニテ台灣銀行ニテハ右前借款一部返還及利子前渡金等ニ閏シ目下本店ニ問合セ中ナリ今回ハ右ノ点サヘ纏マレバ大抵成立スペキニ付台灣銀行ニ於テモ多少讓歩シ以テ本借款ヲ至急成立セシムル様然ルベク台灣銀行當局者ニ御協議相成度尚ホ往電第一号及機密第四号拙信ノ「ボーマン」借款ニ閏シテハ同人ハ猶ホ病氣トノ故ヲ以テ上海ニ逗留中ナルヲ以テ未ダ正式調印スルニ至ラズ従ツ

テ現金交附モ覺束ナキ由ニテ同借款ハ到底見込ナキモノトシ改メテ台灣銀行ニ交渉シタキ希望ノ由ナレバ今回ノ借款

成立ノ上更ニ右「ボーマン」借款ニ代ルベキ三百萬円借款ノ交渉アルニ至ルベシト思ハル

在支公使ヘ転電セリ

三六四 二月十日 在広東太田總領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

広東借款成立ノ結果陸督軍ノ勢力減退ノ虞ナ

第一号

三六五 二月十一日 在広東太田總領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

広東借款成立ト朱省長及陸督軍間關係ニ閏ス
ル見解稟申ノ件

第一号

(二月十二日) 貴電第四号ニ閏シ陸、朱ノ暗鬪今尚熾マズ且朱ノ名声漸ク増加シツツアルハ事實ナルモ是レ朱ガ段総理ノ後援ヲ有シ且勤勉ニシテ熟練ナル行政手腕ト巧妙ナル人心収攬術トニ因ルモノニシテ陸ノ名声較々失墜セルハ屢々休暇ヲ申請シ退志ヲ發表セルニ依リ政治ニ対シテ稍々冷淡ナルノ觀ヲ呈セルト其他開賭問題等ニ依リ人心ヲ失セニ因ルモノニシテ陸、朱兩人ノ執政振ニ依ル自然ノ結果ト思ハル從テ本借款ヲ不成立ナラシムルモ陸、朱間ノ關係ハ当分融和ノ見込ナク財政不如意ノ結果却テ更ニ衝突ノ機會ヲ生ズルヤモ計ラレズ右ニ反シ本借款ヲ成立セシムレバ中國銀行ハ復業ノ緒ニ就クコトヲ得ベク從テ民間ニ於ケル朱ノ声望ハ幾分増加スヘキモ之ガ為陸ノ立場ヲ著シク困難ナラシムル迄ノモノトモ思ハレズ本借款ノ日本側ニ取り有利ナル限り之ヲ成立セシメ可然ト思ハル

柄ニ付是等ノ点ニ付一応貴官ノ御見込承知シ置タシラムヲ恐レ其成立ヲ希望シ居ラズトノコトヲモ耳ニスル折柄ニ付是等ノ点ニ付一応貴官ノ御見込承知シ置タシ

三六六 三月十四日

在広東太田總領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

広東借款ニ閏シ國務會議ハセメント廠ノ担保

ヲ否決シタルモ省長ハ中央ノ承認方強硬ニ交

涉中ナル件

第二〇号

往電第一一號台灣銀行三百万円借款ニ閏シ既ニ双方当事者間ニ協議纏リ広東政府ヨリ中央政府ノ承認方申請中ノ処今回中央政府ヨリ「セメント」廠及担保各不動産ハ時価一千万円以上ニシテ僅ニ三百万円借款ノ担保トナスハ甚タ算ニ合ハズ且「セメント」廠ハ広東ニ於ケル最有利ナル工業ニシテ現在広東商民ノ北京ニ來リテ現在株ノ加入請願ヲナシ業務ノ拡張ヲ計ルモノモアル關係上之ヲ担保トセハ自然商民ノ投資ヲ妨ヶ利權ノ大損失ヲ受クルヲ以テ國務會議ニ提出シ其ノ結果該廠ヲ担保トスルコトヲ否決セリ其他ノ大沙頭ハ担保トナシテ差支ナキニ付適宜借款スヘシ云々ト返電アリタル由ナルカ右ニ対シ省長ハ職ヲ賭シテモ更ニ承認ヲ得ヘキ決心ニテ目下中央政府ニ交渉中ノ由ナリ

公使ヘ転電セリ

第四四八号

本使発在広東總領事宛電報三月三十一日第一五号

往電第一四号ニ閏シ三月三十日附ヲ以テ伍外交總長ヨリ正式照会アリタリ条件左ノ如シ

- 一、借主「セメント」工廠
- 二、金額日金三百萬元最近ノ借款八十万元及水災借款四十万元ヲ差引クコト
- 三、用途ハ「セメント」工廠資金
- 四、利息年利八厘四回ニ分チテ交付ス
- 五、手取九十六
- 六、期限二年
- 七、担保ハ「セメント」工廠全財産ナルモ廠務ニ干渉セザルコト広東政府ハ更ニ旧藩府兩署大沙頭東堤海關官地ヲ以テ保証債務ノ担保ト為ス
- 八、広東政府並中央政府保証承認ス

九、償還方法、借主ガ元利ヲ償還シ能ハザルトキハ広東政府ハ須ラク其責任ヲ負ヒ広東省ノ雜收入ヲ以テ償還ス

十、旧債ノ六十万元ハ五十万元ノ交付ヲ延期シ別契約トシ期限六ヶ月、月利八厘半担保ハ旧ニ依リ且ソ北京政府

ヨリ承認ス

三六八 四月二日

在中国林公使ヨリ
在広東太田總領事宛

広東セメント廠借款取極ノ件

附属書一 照会写

二 三月三十一日付在中国林公使ヨリ伍外交總長
宛回答書翰写

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助

在広東 総領事 太田 喜平殿

広東セメント工廠借款ニ閏スル件

本件ニ閏シ伍外交總長ヨリノ正式照会ノ要領ハ不取敢三月

三 对中国借款関係雑件 (三) 三六八

三六七 三月三十一日

在中国林公使ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

広東借款ニ閏シ伍外交總長提示ノ条件報告ノ件

三〇九

三 対中国借款関係雑件 (三) 三六八

北京政府承認、以上各辦法、業經財政部核准除俟借款合同送到再行照送外、相應先行照會貴公使查照轉飭台灣銀行知悉可也、須至照会者、右照会

大日本國欽命駐華全權公使林

民国六年三月三十日

(右和訳文)

以書翰致啓上候陳者廣東督軍省長ト台灣銀行トノ間ニ商議セシ「セメント」工廠ヲ抵当トスル日金三百萬元ノ借款条件ハ左ノ通りニ有之候

(一) 借主「セメント」工廠(二) 金額日金三百萬元最近ノ借款八十萬元及水災借款四十萬元ヲ差引クコト(三) 用途ハ「セメント」工廠資金ニ供給ス(四) 利息ハ年利八厘四回ニ分チテ交付ス(五) 每百元ニ付實際交付額九十六元(六) 期限ハ二年間ニ還付スルコト(七) 担保ハ「セメント」工廠ニ属スル全財產ナルモ廠務ニハ干渉セザルコト廣東政府ハ更ニ旧藩府(旧布政使及旧知府ノコト)兩署大沙頭東堤海關官地ヲ以テ保証債務ノ担保ト為ス(八) 保証人ハ廣東政府並ニ中央政府保証承認ス(九) 償還方法、借主元利ヲ償還シ能ハサル時ハ廣東政府ハ須ラク其責任ヲ負ヒ廣東省ノ雜収入ヲ

三一〇

以テ之ヲ償還ス(十) 旧借ノ六十萬元ハ五十萬元ノ交付ヲ延期シ別契約トシ期限ハ六ヶ月月利八厘半担保ハ旧ニヨリ且ツ北京政府ヨリ承認ス

到ノ上ハ更ニ御送付可致キモ不取敢貴公使ヨリ台灣銀行ニ御轉飭相成度此段照会得貴意候

敬具

民国六年三月三十日

伍外交總長

林公使宛

(附屬書二)

乙号写

三月三十一日附林公使ヨリ伍外交總長宛回答書翰

第六八号

以書翰致啓上候陳者廣東督軍省長ト台灣銀行トノ間ニ商議セシ「セメント」工廠ヲ抵当トスル借款ハ已ニ財政部ノ許可ヲ得タルニ付本使ヨリ台灣銀行ニ轉飭方三月三十日附貴翰ヲ以テ御申越ノ趣致敬承候就ハ早速廣東帝國總領事ニ電訓シ台灣銀行ニ轉飭方取計置候間左様御承知相成度此段回答得貴意候

敬具

大正六年三月三十一日

廣東セメント廠借款契約ニ閲シ報告ノ件

日本帝国特命全權公使男爵 林 権助

支那共和国外交總長 伍廷芳殿

註 右写ハ四月二日附林公使堯本野外務大臣宛機密第二二四号

(四月七日接受) ヲ以テ送付越サレタルモノナリ

附記 台灣銀行對廣東省借款表

三六九 四月四日 在廣東太田總領事ヨリ

本野外務大臣宛(電報)

機密第一五号

大正六年四月十日

在廣東

総領事 太 田 喜 平(印)

外務大臣子爵 本野 一郎殿

廣東ニ於ケル台灣銀行借款ニ閲シ報告ノ件

シ四月二日付ニテ調印ヲ了セリ明五日現金ノ受渡シヲナス

管ナリ尚ホ又新借款条件中ニ北京政府ノ大借款成立シタル

トキハ期限内ニ係ハラズ直ニ返金ヲナスペキモノトストノ

一項アリ右ハ三月三十一日北京來電第十五号中ニナキモノニ付為念電報ス

在支公使ヘ電報セリ

三七〇 四月十日 在廣東太田總領事ヨリ

本野外務大臣宛

三 对中国借款關係雑件 (三) 三六九 三七〇

三一

三 对中国借款関係雑件 (三) 三七〇

三一二

台湾銀行ニ対シ再ヒ本借款ノ交渉ヲ開始シ度キ旨申込ミ來
リ爾来双方当事者間ニ協議ヲ續ケ台湾銀行側ニ於テ多少讓

歩シ手取九五ヲ九六トシ延滞利子ニ関シテ別ニ廣東政府ト
打合セノ上定ムルコトトシ且ツ一ヶ年分利息ヲ台灣銀行ニ
預ケ入ルル項ヲ削除シ又担保品中皮革廠ハ已ニ民間ニ払下
ケシヲ以テ是レ又削除シ其ノ他大体ニ於テ前回ノ規定ニ基
キ双方協議纏マリ北京政府ノ承認ヲ経並ニ外交部ヨリ在支
公使ヘ右借款承認ノ旨照会アリシヲ以テ遂ニ本月一日当地
ニ於テ本借款書ニ調印セリ尚ホ本借款三百万円ノ内ヨリ已
ニ期限到達セル大正五年十一月十日貸出ノ金六十万円及十
二月十四日貸出ノ金二十万円並前廣東政府ノ借款銀四十万
弗ハ控除償還シ尚ホ前廣東政府借款金六十万円ノ内金五十
万円ハ更ニ本借款調印ノ日ヨリ六ヶ月間延期スルコト、シ
利率月八厘五毛担保廣東全省煙草税、牛皮捐、屠牛捐トシ
北京政府之ヲ承認シ廣東督軍省長及財政厅長之ニ署名捺印
セリ

右台灣銀行借款ニ關シ別紙契約相添ヘ茲ニ及報告候 敬具

本信写送付先 在支公使

(附属書一)

広東セメント廠及台灣銀行間金三百万円借款契約書写
証

財政部廣東土敏土廠（以下単ニ甲ト称ス）ハ其事業資金ト
シテ株式会社台灣銀行（以下単ニ乙ト称ス）ヨリ日本金參
百万円也ヲ借入レ乙ハ之ヲ貸出スニ付左記各項ヲ確約ス

第一、甲ハ乙ヨリ日本金參百万円也ヲ借入レ乙ハ之ヲ貸出
スマノトス

第二、本借款ノ期限ハ借入当日ヨリ武ヶ年間即日本曆大正
八年四月二日迄トス但シ甲ハ北京政府ノ大借款成立シ
タル時ハ期限ニ拘ラズ直チニ返金ヲ為スヘキモノトス

第三、本借款ノ利息ハ元金日本金壠百円ニ付壹年八円ノ割
合即年利八分トシ參ケ月毎ニ前払ヲ為スヘキモノトス

第四、本借款ニ対スル甲ノ手取金ハ日本金壠百円ニ付九拾
六円トス

第五、甲ハ乙ニ対シ本借款ノ担保トシテ別紙図面ノ如キ土
地建物ノ外機械器具諸権利等甲ニ属スル一切ノ財産ヲ
差入ル、モノトス但シ乙ハ本借款期限到来前廠務ニ干
涉セサルコトヲ諾約ス

第六、本借款ニ付廣東督軍陸榮廷並ニ廣東省長朱慶瀾ハ広
右見証ス

財政部廣東土敏土廠總辦 劉 麟 瑞(印)

連帶保証人

廣 東 督 軍 陸 栄 廷
代理督軍 謝 浩 明(印)

連帶保証人

廣 東 省 長 朱 慶 瀾(印)
債權者

台灣銀行廣東支店支配人 小笠原三九郎(印)

右見証ス

在廣東

大正六年四月一日
總領事 太 田 喜 平(印)
註 別紙附図省略

本文ニ依ルモノトス

右契約ノ証トシテ本証正副二通ヲ作リ双方署名調印ノ上乙
ハ正本、甲ハ副本ヲ所有スルモノ也

中華民国六年四月一日

大正六年四月一日

債務者

(右漢文)

立借款契約人財政部廣東土敏土廠（以下称甲）茲因需用營業資金特向株式会社台灣銀行（以下称乙）借用日本金參百萬円正乙借与之訂立各条如件左

第一条甲向乙借用日本金參百万円正乙借与之

第二条本借款之期限訂由借入之日起以兩年為期即日本大

正八年四月一日為滿期但若於北京政府大借款成立時雖在期內可以償還

第三条本借款之利息毎日本金百元每年八元即週息八厘算每三個月上期提前繳納但本息金拖延時之利息其息

償還由乙与廣東省政府磋商另行弁理

第四条本借款毎日本金百元甲実收九十六元九六控

第五条甲對乙於特將另單開列之本廠土地房屋工場（並附圖說）及機器諸權利等凡屬該廠之一切財產均抵押

與乙作為此借款之担保但乙於本借款期限未滿之前

承認不干涉廠務

第六条本借款由廣東督軍陸榮廷及廣東省長朱慶瀾代表廣

東省政府對於乙有連帶保証償還甲債務之責任倘甲

有拖欠本息時應即以廣東省政府之收入代為清還

第七条廣東省政府為前項連帶保証償還債務特將另單開列

（並附圖說）之大沙頭旧藩台衙門廣州府衙門一切

土地房屋及東堤海關官有堤地均抵押與乙作為担保

第八条本借款甲若不履行債務時及廣東省政府又不履行其

連帶保証之債務時乙可將甲及廣東省政府之一切擔

之質信

（附属書二）

金五十万円借款延期契約書写

延期 証

大正六年四月二日

右見証ス

廣東省長 朱慶瀾（印）
廣東財政府長 嵩家熾（印）

在廣東

總領事 太田喜平（印）

（右漢文）

借款延期証書

大正四年十二月三十一日所立之借款契約借用日本金陸拾萬円正茲蒙貴行情允將日本金五拾万円展期時遵左列條款履行決不有誤此拠

第一期限六ヶ月（即大正六年十月二日為滿期）

第二利息月息八厘半（即日本金百元每個月息銀八毫五仙）

（四）北京政府承認

右延期証仍テ如件

中華民國六年四月二日

大正六年四月二日

廣東督軍陸榮廷

代理督軍

譚 浩 明（印）

保品隨時任意处分之以償借款本息
第九条本借款須得北京政府承認

第十条本借款条件如有中日文意誤解之時應照日本文解釈為正

右為契約之証本契約照樣繕寫兩份双方簽押蓋印乙執正本甲執副本彼此分存為拠

大正六年四月二日

中華民國六年四月二日

大正六年四月二日

大正六年四月二日

大正六年四月二日

大正六年四月二日

大正六年四月二日

右見証ス

大日本帝国廣州總領事館領事館

右見証ス

大正六年四月二日

在廣東

總領事 太田喜平（印）

右見証ス

大日本帝国廣州總領事館領事館

右見証ス

大正六年四月二日

右見証ス

右為延期之証特立各條為拠

三 对中国借款關係雑件（三）三七〇

三一六

大正六年四月二日
中華民国六年四月二日

中華民国六年四月二日
廣東督軍陸榮廷

三一六

廣東督軍代理
廣東省長 謝浩明(印)
廣東財政廳長 廣家灝(印)

代理督軍 譚浩明(印)
廣東省長 朱慶瀾(印)
廣東支店 支配人 小笠原三九郎(印)

右見証ス
株式会社台灣銀行台照

右見証ス
廣東督軍陸榮廷

大正六年四月二日

在廣東

總領事 太田喜平(印)

在廣東

總領事 太田喜平(印)

(附屬書三)

元利金延滞ノ場合ノ利息割合ニ関スル取極

別証

日本曆大正六年四月二日付証書ニ依ル財政部廣東土敏土廠
借款契約第三項ニ基キ廣東省政府ハ株式会社台灣銀行ト打
合ノ上該借款元利金延滞ノ場合ノ利息割合ヲ年利一割二分
即日本金百円ニ付一ヶ年十二円ノ割合ト定ム依リテ為後日
双方署名調印ス

大正六年四月二日

在

總領事 太田喜平(印)

在

總領事 太田喜平(印)

(右漢文)

日本曆大正六年四月二日財政部廣東土敏土廠之借款契約依
該契約第三條廣東省政府与株式会社台灣銀行商定該借款本
息拖延時之利息定為週息一分二厘算即日本金每百元每年利
息十二元算恐後無憑特立此別証双方簽押蓋章為拠

大正六年四月二日

中華民国六年四月二日

廣東督軍陸榮廷

代理人 譚浩明(印)

代理人 譚浩明(印)

別証

日本曆大正六年四月二日財政部廣東土敏土廠之借款契約依
該契約預存三個月份之相當額利息陸万円於株式会社台灣銀
行並廣東省政府決定該借款期限之内常以此項同額之借款預
存於該行特立此為拠

大正六年四月二日

中華民国六年四月二日

廣東督軍陸榮廷

代理人 譚浩明(印)

代理人 譚浩明(印)

(附屬書四)

利息支払ノ保証ニ關スル取極

別証

日本曆大正六年四月二日付証書ニ依ル財政部廣東土敏土廠
借款ニ就而ハ利息支払ノ保証トシテ株式会社台灣銀行ニテ
利息三ヶ月分相当額金六万円也預入ヲ受ケ尚廣東省政府ハ
該借款期限内常ニ同額ノ預入ヲ為スヘキコトヲ誓約ス
為後日証書仍テ如件

大正六年四月二日

中華民国六年四月二日

廣東督軍陸榮廷

三 对中国借款關係雑件（三）三七〇

代理人 譚浩明(印)
代理人 譚浩明(印)
代理人 譚浩明(印)
代理人 譚浩明(印)

三一七

三 対中国借款関係雑件（三）三七〇

三一八

右見証ス

大日本帝国総領事

在広東

総領事 太田 喜平（印）

大正六年四月二日

（附記）

（大正六年四月二日現在台湾銀行調）

台灣銀行對廣東省借款表

- 一、銀四十万弗 第一次水害借款
成立 大正四年七月二十三日
期限 大正五年一月二十二日
担保 広東省地方税
- 二、金六十万円 第二次水害借款
成立 大正四年十二月三十一日

期限 大正五年十二月三十日
担保 広東省地方税
成立 大正六年五月十日
期限 大正六年十一月十日
担保 広州及布政使衙門官有土地建物、海關敷地
（之ハ二十万円借
款成立ノ時追加）

四、金二十万円 市場救済
成立 大正五年十二月十四日
期限 大正六年五月十日
担保 前記六十万円借款ト共通
(右ハ台灣銀行久宗氏ヨリ電話ニテ通知ヲ受ケシモノ
ナリ)

事項四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ関スル件

附 日本ノ滿蒙鉄道事業ヘノ米国資本家協同ニ関スル件

第五号

在米國佐藤大使（ヨリ
本野外務大臣宛（電報）

三七一 一月九日

中國運河借款ノ日米協同ニ関シ我方希望通り
中國側ニ交渉スベキ旨ストレート氏談話ノ件

附 記一 大正五年十二月十八日在米國佐藤大使發本野

外務大臣宛電報第一〇六号

中國運河借款ノ日米協同方米國業者ヨリノ申
出ニ対スル回答振ニ付請訓ノ件

二 大正五年十二月二十二日付神野大藏省理財局
長ヨリ小幡政務局長宛書信

中國運河借款ヘノ参加ニ賛成ナル旨ノ大藏省

意向通報ノ件

三 大正五年十二月二十四日本野外務大臣發在米

國佐藤大使宛電報第一一九号

中國運河借款ノ日米協同ニ関スル米國側申出

ニ応諾方回訓ノ件

四 大正五年十二月二十五日本野外務大臣ヨリ在

米國佐藤大使宛電報第一二一号

中國運河借款ノ日米協同問題ニ関スル經緯ニ
付通報ノ件

（附記一）

（十二月十八日接受）

「アメリカン、インターナショナル、コーポレーション」
ニ於テハ近來支那ニ於ケル投資ニ付日本ト提携セントスル